



報告書抄録

ふりがな	ひぐらし・まつばやしいせき(さいせいかいとくようほーむ)							
書名	日暮・松林遺跡(済生会特養ホーム)							
副書名	特別養護老人ホーム(なでしこ香川)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	第1冊							
シリーズ名	高松市埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第86集							
編著者名	大嶋 和則							
編集機関	高松市教育委員会							
所在地	〒760-8571 香川県高松市番町一丁目8番15号 TEL087-839-2636							
発行年月日	西暦2005年8月31日							
ふりがな	しょうがい	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "			
ひぐらし・まつばやしいせき 日暮・松林遺跡	香川県 高松市 多肥上町	37201		34°	134°	2004.6.23 ～ 2004.8.27	1,600m ²	特別養護老人ホーム建設
				17°	03°			
25°	35°							
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
日暮・松林遺跡	集落	弥生	掘立柱建物 土坑	弥生土器、石器、木器 須恵器、土師器、木樋 土師器、瓦器 陶磁器				
		古墳	溝					
		中世	溝 土坑					
		近世	溝 土坑					
要約	日暮・松林遺跡は高松平野の中央部に所在する弥生時代の集落遺跡である。今回の調査では、弥生時代中期から近世までの遺構・遺物を検出した。特に古墳時代後期のSD1は幅4m、深さ1.5mの規模で、多量の遺物が出土した。出土遺物中には長さ3.2mを測る木樋も見られた。なお、SD1はこれまでの周辺の都市計画道路調査地SR02及び病院調査地SD1等とつながる溝であることが予想される。またSD1に並行して中世まで多数の溝が掘削されていることがうかがえた。							

特別養護老人ホーム(なでしこ香川)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

日暮・松林遺跡 (済生会特養ホーム)

平成17年8月31日 発行

編 集 高松市教育委員会
高松市番町一丁目8番15号

発 行 高松市教育委員会
社会福祉法人恩賜財団済生会支部香川県済生会

印 刷 株式会社 中央印刷所